

多収米

福井の稲作を『強い粒づくり』大粒&多収でつなぐ

令和7年7月18日

JA福井県
多収米協議会

にじのきらめき速報

RAINBOW RICE

【No.9】

【穂肥と間断通水の実施】

7月も3週目に入り気温が高い日が続く、10年に1度の高温の夏が予想されています。ひび割れが発生するほど干すことは避け、成熟期(9月上旬)まで間断通水(飽水管理)を行ってください。幼穂形成期の水不足は穂が小さく、着粒数が減ります。また、登熟期の水不足は登熟歩合の低下により網下米が増え、減収したり乳白粒や未熟粒を増加させますので水管理を徹底してください。

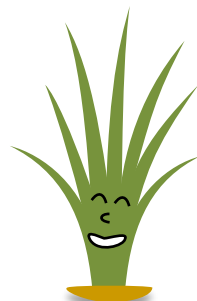
1.生育状況について(7月16日現在)

①JA全体

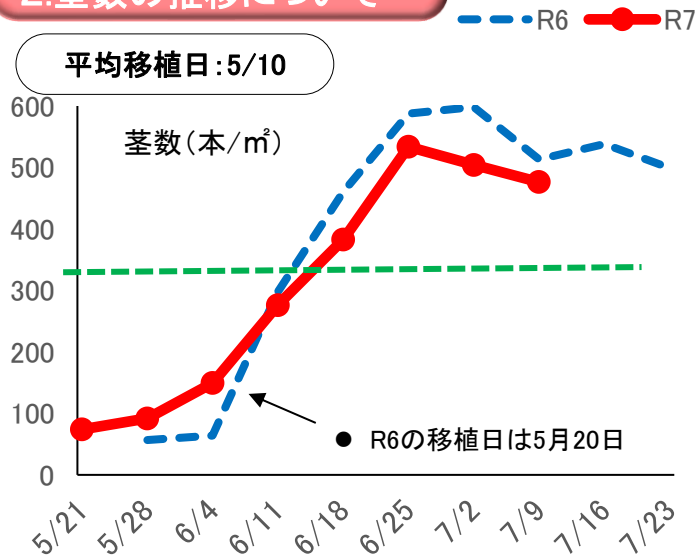
栽培区分	年度	移植日(平均)	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉色
移植	R7	5月10日	84.6	462.0	4.1
	R6	5月20日	88.2	538.1	4.3

②各地区の状況

栽培区分	地区	移植日(平均)	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉色
移植	福井	5/11	84.2	453.2	4.2
	坂井	5/10	85.0	470.8	4.0



2.茎数の推移について



丸岡支店管内【7/14撮影】



× 過乾燥

○ ひたひたを維持

3.にじのきらめきの栽培ポイント

○いもち病・紋枯病の防除 ○葉色が淡い場合は、追肥を検討しましょう



いもち病対策

稲体を確認し、いもち病発生が見られたら至急、薬剤防除を実施しましょう。

* 感染好適条件

- 平均気温20～25℃が5日間
- 弱い雨や露などで葉が長時間濡れる

□ ブラシ粉剤(治療剤)

3～4kg/10a

収穫7日前まで

使用回数2回以内



『高温時の水管理』

■ フェーン現象(強風時)は、速やかに入水し、乾燥による葉からの蒸散を防ぎましょう。

■ 極端な高温が続く場合には、可能な限りこまめに水の更新をしましょう。

入水: 水位: 3cm程度 ● この水管理の繰り返し

自然落水



県域多収米「にじのきらめき」のお問い合わせは、各地区担当営農指導員までお願いします。